

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2003-525050(P2003-525050A)

【公表日】平成15年8月26日(2003.8.26)

【出願番号】特願2001-563611(P2001-563611)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/22 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/22

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 *Neisseria meningitidis* タンパク質 961 の異種発現のための方法であって、

(a) タンパク質 961 は、MC58 株におけるアミノ酸配列 961

【化 1000】

MSMKHFPAKVLTTAILATFCSGALAATSDDDVKKAATVAIIVAAYNNGQEINGFKAGETIYDIGE  
DGTITQKDATAADVEADDFKGLGLKKVVTNLTKTVNENKQNVDAKVKAAESEIEKLTTKLADTD  
AALADTDAALDETNALNKLGENITTFEETKTNIIVKIDKLEAVADTVDKHAEAFNDIADSLD  
ETNTKADEAVKTANEAKQTAEETKQNVDAKVKAAETAAGKAEAAAGTANTAADKAEAVAAKVTD  
IKADIATNKADIAKNSARIDSLDKNVANLRKETROGLAEQAALSGLEQPYNVGRFNVTAAVGGY  
KSESAVAIGTGFRFTENFAAKAGVAVGTSSGSSAAYHVGVNVEW

を有し、

(b) 該タンパク質における少なくとも 1 つのドメインは欠失しており、

MC58 株における 961 のドメインは、

(1) アミノ酸 1 ~ 23 ;

(2) アミノ酸 24 ~ 268 ;

(3) アミノ酸 269 ~ 307 ; および

(4) アミノ酸 308 ~ 364 ;

であり、

該 961 タンパク質は、宿主細胞において発現される、方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の方法であって、タンパク質発現のために融合パートナーが使用されない、方法。

【請求項 3】 請求項 1 に記載の方法であって、前記タンパク質が C 末端 His タグを含む、方法。

【請求項 4】 請求項 1 に記載の方法であって、前記タンパク質が N 末端 GST を含む、方法。

【請求項 5】 請求項 1 に記載の方法であって、前記タンパク質 961 が、ハイブリッ

ドタンパク質の N 末端部分である、方法。

【請求項 6】 請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の方法によって発現された、タンパク質。